

## 長月

実りの秋となり、収穫を終えた田畑に秋の深まりを感じます。長雨による影響が懸念されましたが、今年の気候は植物に適し、収穫量が若干落ちる山間部でも高収穫が得

られ、自給飼料の生産に追い風となりました。過日、全国酪農民総決起大会が日比谷で開かれ、全国から代表者約二千三百名が集い、消費者・乳業メーカーに一刻の猶予もない状況を伝え、価格転嫁の必要性を強く訴えました。各乳業メーカーは

「酪農家の厳しい状況は理解するが、消費者の牛乳離れも深刻」と慎重な姿勢を崩さず、具体的な回答が未だ無い状態です。今後とも総力を上げ、早期に値上げを実現出来るよう取組んで参りますので、皆様のご協力をお願い致します。



# 平成二十年度 生乳計画生産の動向と 期中での乳価改定について

都府県の生乳生産は減少の一途をたどり、都府県が全国に占める生産割合が初めて五割を切りました。増産型に転じた平成二十年度生乳計画生産ですが、Jミルク速報によると総受託乳量の八月までの累計では、北海道で前年同期比一〇三・四%、都府県九六・六%、全国九九・八%と都府県が当初計画である前年比一〇〇%から大きく乖離した形で推移している反面、北海道は堅調に計画比一〇三%を上回っており、全国レベルの計画達成は北海道の動向次第といった姿に変化してきています。関東に目を転じてみると関東の生乳生産は前年同期比九七・七%と都府県の減少に比べて一%ほど上回っています。前年比一〇〇%減の会員もあり、栃木としては一〇〇・九%と辛うじて計画を達成している状況です。二年続いた減産型から増産型に舵はきられました。

これら計画生産の達成度合いは、ある面それぞれの地域の生乳生産基盤の強弱を反映しているともいえます。

組合の乳成分の推移の中にも、飼料高騰の影響がうかがえます。

成分的乳質の乳脂肪分が前年に比べ顕著に低下した形で推移しております。その要因として、コスト削減のために飼料給与の見直しを余儀なくされ、配合飼料の一部を生粕飼料に代替えし、従来から使用してきた乾草類を低価格のものに変更するなど、飼料高騰の変化に対応してきた結果を反映しているものと考えられます。経営対応の模索は、生乳生産量と乳質に影響の度合いを色濃く残しているものと推測されることです。

いかなる時代でも環境に適応できるかどうかが生存の要件といわれますが、経営対応を進めていく原動力は言うまでもなく、経営者

の経営意欲の強さであり、改善意識の高さです。すなわち、組合員の皆様の経営意欲や改善意識の減退が進めば、組合の生乳生産基盤は崩れていってしまう恐れがあります。

期中での乳価値上げ交渉が続いていますが、乳業メーカーからの有額回答が得られないため膠着した状況を打破すべく、関東では三度目となる回答期限を九月末として交渉を進めています。これ以上の回答の引き延ばしは、酪農・乳業間の信頼に関わる問題に発展しかねません。関東は十月から乳価一kgに対し十円の値上げを目指して交渉していますが、十月からの値上げは難しい情勢となっており、値上げ時期が先に延びたとしても要求に対して満額回答が得られるのかどうか、期待と不安は日に増すばかりであり、乳業メーカーから思うような回答が得られなかった場合に経営意欲や改善意識へ悪い影響が及ぶのではないかと心配されることです。また、仮に乳価値上げによって牛乳の消費が落ち込み、減産調整に転じてしまった場合の対応についても覚



9月11日開催 原油・肥料・飼料高騰対策  
栃木県代表者緊急集会

悟が必要であり、認識しておかねばなりません。

組合は臨時理事会で期中での支払乳価改定を決定いたしました。本年十月から三月までの半年間、基準乳価に一kgあたり二円を上乗せした形で支払い乳価を増額しました。組合員個々に経営対応の厳しさは違いますが、生乳生産基盤の確保を図るため組合独自の対応として行います。

乳業メーカーからの実のある回答を期待しながら、経営対応の手を緩めることなく経営意欲を奮発いただき、今後とも生乳計画生産の達成にご協力下さいますようお願いいたします。



# 日本酪農政治連盟主催 全国酪農民総決起大会 及び実行運動

七月末日、東京都日比谷公会堂に全国から酪農関係者二千三百名（酪農とちぎから組合員・役職員計百十四名）が集い、全国酪農民総決起大会が行われました。



大会では現場の窮状を訴える切実な意見が出され、執行部は「皆さんと全く同じ気持ちだが、今日は値上げに向けてのスタートライン。仲間が共通の認識を持って、共に不退転の決意でがんばりましょう。」

とまとめ、生産者乳価十円以上引上げ要求と実行運動について



て議決されました。その後実行運動に移し、デモンストラシ

布、乳業及び流通団体等へ乳価値上げ要求を行いました。デモ行進では街宣車を先頭に、トラクターや横断幕、のぼりなどを利用し、有楽町駅前から東京駅前を経由し常盤橋公園を終着点として盛大に実施されました。また、チラシ配布は新宿駅周辺、渋谷駅周辺で行い、消費者へ向けて酪農の現状をアピールし、価格転嫁の必要性を訴えました。

# 秋の農作業安全運動 農作業事故ゼロを目指し

平成二十年度秋の農作業安全運動が、九月一日～十月三十一日の二ヶ月間推進されます。今年のスローガンは「安全のために着けよう、防護具・防護カバー」となっており、運動の重点として、①農業者の農作業安全意識の高揚②高齢者及び女性の農作業事故防止③農業機械の安全装備の装着・確認④労災保険・傷害保険加入の促進が挙げられています。

農作業事故で最も多いトラクターの事故は、慣れている農道・田畑で転倒等の事故が発生し、高齢者の事故が多い傾向となっています。慣れによる気のゆるみが事故を誘発していると思われ、初心に戻り作業にあたって頂きたいと思えます。さらに、シートベルトは転倒等の事故に対する安全対策として重要でありますので、必ず装着して下さい。また、農道はトラクター等が優先されるべきですが、多くの一般車両が農道を走行し、衝突事故や道を譲ろうとして路肩に転落してしまった事故も発生しています。農

道は一般道と異なり道幅も狭く、路肩により過ぎると大変危険ですので、充分なスペースで余裕をもった運転を行って下さい。



農業機械も日進月歩で、新しい機能・安全装置等が装備されています。しかし、導入時の説明で全てを把握出来るとは限りませんので、必ず一度は取扱説明書に目を通して頂き、安全に作業を行う操作法を確認して下さい。最後に、皆様におかれましては秋の農繁期であり、お忙しい中と存じますが、水分補給による熱中症対策も行いながら、農作業事故のないようお願いします。



## 海外研修レポート

組合では、酪農後継者の研修等の参加に際し支援を行っております。今回は芳賀郡二宮町の井沢裕幸くん（井沢幸雄さんの後継者）がニュージーランド研修に参加しましたので、ご報告致します。

### ニュージーランド派遣農業

#### 研修に参加して

真岡北陵高等学校二年

井沢 裕幸



井沢裕幸さん

私は、七月七日から七月二十一日までの約二週間、ニュージーランドの派遣農業研修に参加しました。この研修に参加したきっかけは、高校の先生に「ニュージーラ

ンドに行つて、農業研修をやってみないか？」と薦めて頂いたことで、そして、

海外の農業

を学び将来に生かしたいと考え、参加を決意しました。

期待と不安を胸に日本を飛び立ち、約十一時間のフライトを終え、ニュージーランドに無事到着しました。到着後はバスに乗り、最初の研修を行うロッジへ向かいました。南半球は日本とは逆の真冬にあたりますが、温暖な気候であるため、車窓からは壮大な大地に羊や牛などが放牧されたのどかな風景が続き、ニュージーランドにいる事を改めて感じました。

ロッジでの研修は、この国の先住民であったマオリ文化の学習、動物の保護園に行き国鳥でもあるキーウィを始め貴重な動物を見る事が出来ました。また、自然の山にレイアウトされたコースを滑る、



羊の放牧

ローラーリユージュ（ローラ付きのソリ滑り）の体験もできました。特に印象に残ったのは土蜚（ツチボタル・ヒカリキノコバエ）の観察です。土蜚は洞窟の壁に、捕獲用の粘着性の糸を張り、自らが光を放ち他の昆虫を誘い捕食します。その光は日本の蛍と比較すると弱いものですが、ライトブルーの柔らかな光は神秘的で感動しました。

ニュージーランドの自然と文化を学んだ後、酪農の研修を行うため牧場に向かいました。この国は豊かな国土と地形から農業が盛んで、草地を生産基盤とする世界でも有数の畜産国であり、乳製品の国際価格上昇を受け、近年牧羊から酪農に



乳牛の放牧風景

転向する農家が増加傾向にあります。研修に向かった牧場は、この国の特徴でもあ

る放牧を基本としており、のんびりと牧柵の中で草を食んでいる牛を見ることが出来ました。ここではホルスタイン種と似ている乳牛を飼養しており、「フリージャー」というそうです。フリージャー種は、ホルスタイン種と比較すると外観は一回り小さく搾乳量も劣るようですが、この地方の飼養形態にもっとも合っているそうです。飼養形態や気候によって飼養する品種が変化することを学習し、放牧を基本とするニュージーランドと日本の酪農との違いに驚きました。

最後に、この研修に参加するにあたり、支援して下さいました酪農とちぎ農業協同組合に深く感謝申し上げます。今回の研修で学んだ経験を将来に生かして行きたいと思っております。



フリージャー種



# 東西南北

## 那須高原支所

### 第七回野外パーティー

八月八日、那須高原支所活動推進協議会（坂主正会長）主催による第七回野外パーティーが、那須町共同利用模範牧場で開催されました。当日は晴天にも恵まれ、組合員・家族をはじめ、従業員や中国人研修生など約五百名が集い、栃木県産牛肉でのバーベキューや抽選会、お子様向け〇×クイズなどで楽しまれました。さらに余興では、プロレスラーに扮した職員が「乳価値上げに向けて頑張るぞ」と会場内を駆け回り、賛同の声で盛り上がりました。

恒例となつた野外パーティーも七回目を迎え、地元支部員との交流はもとより、

他地区支部員との更なる親睦も深められ、本当に有意義な一日となりました。

## 宇都宮支所

### 支所活動協議会全体交流会

八月十八日、宇都宮支所前広場において、組合員及びその家族、協賛会社など百三十名余が参加して盛会裏に開催しました。

この交流会は家族参加型にて、野外バーベキューなどで一層の交流を深めていただくと共に、情報交換を行なう目的で開催されました。小林幸雄協議会長と菊池一郎組合長の挨拶後、交流会のスタートとしてレクリエーションインストラクターの池葉英子先生の号令でラジオ体操・いきいき元気体操と称して演歌の曲に合わせたオリジナル体操を行いました。日頃の疲れた筋肉を癒す効果があるとのこととで参加者が微笑みを浮かべながら楽しんで行なわれました。主な行事は、飼料高騰の折、「メーカーからの提言」と題して、協賛いただいた明治飼糧・雪印種苗・全酪連から五分間スピーチ、支所より「稲わらロールサイレージに注目しましょう!」と題して講話を行い



ました。その後、那須だいすき牛乳で乾杯し、バーベキューを楽しみました。ビンゴゲーム、牛乳早飲み競争! スイカ割り大会! モウモウウルトラクイズ! を実施しました。最後に参加者全員による、じゃんけんゲームを行い更に盛り上がりました。このイベントは酪農とちぎ創立以来の久しぶりの全体研修会とあって、酪農家にとって今までにない厳しい環境の中で一時でも家族参加型の行事として楽しんでいただけたと思います。

## 県南支所

### 支所活動推進協議会全体研修会

八月五日県南支所に於いて、県南支所活動推進協議会（田村順一会長）主催による全体研修会が開催され、講師に豊田通商(株)より木下氏・大屋氏を迎え粗飼料・穀物の情勢、今後の予測について研修致しました。

豊田通商(株)によりますと、アルファルファはオールド品の量が少な



く、ニュークロップの米国内向けの需要も集中し、作付面積も三割程度減少し、一番刈は雨当たり品が多い状況です。スーダンも作付面積の減少、早播きの減少に伴う刈取り回数の減等により、生産量が減少しています。チモシーもスーダン同様に作付面積の減少、一番刈が他作物へ転作したため生産量が減少し、今後も価格の上昇が見込まれています。また、穀物情勢（コーン）は、米国のエタノール政策・ファンド（投資家）・世界人口の増加、経済成長（中国・インド）に伴う穀物需要の増加が要因となつて、配合飼料等の高騰につながっているとは既にご承知の所ですが、今後のコーン相場は下げの傾向になっており、乾草類も今年の取引価格を受け、作付量が増加し流通量の増加も期待できるところから、早ければ来年にも価格が落ち着くことも予想され、最後に少し明るい話題で研修会を終了することが出来ました。



# 部課だより

## 生乳販売課

生乳生産量七月度

前年比九八・〇%

七月度の生乳生産量は一七、九七一トン（前年比九八・〇％・累計九九・七％）となりました。

支所別生乳生産量をみると、那須高原支所においては前年比九七・四％、宇都宮支所九六・六％、県南支所一〇〇・七％の実績となりました。

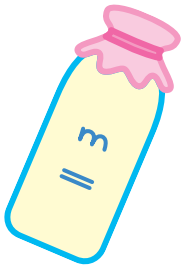
関東においては前年比九五・六％（累計九七・九％）となり、特定乳製品向けについては三・七％（前年八・三三％）と前年より加工率は減少しました。飲用牛乳向けは前年比九九・五％となり〇・五％の減に留まりました。累計においては二・八％の減となりました。また、はっ酵乳向けについては前年比一〇四・九％となっております。

全国の生乳生産量については前年比九九・〇％（累計九九・九％）でした。北海道は一〇三・四％（累計一〇三・四％）と前年を上回る生乳生産量で推移していますが、北海道を除く（都府県）生乳生産量は九四・八％（累計九六・八％）となっております。全国の飲用牛乳向けは前年比九九・二％となっております。

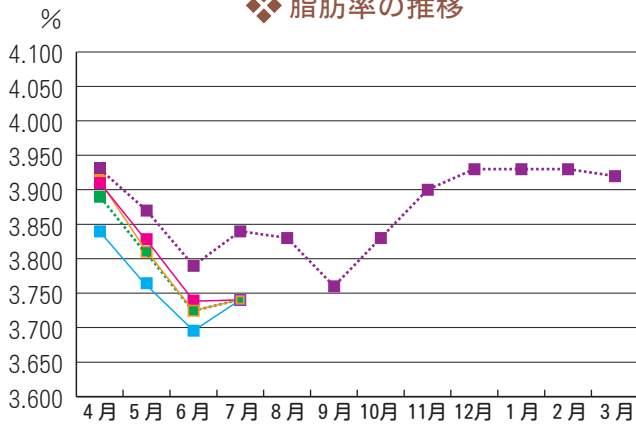
組合における乳質成績は、脂肪率が三・七四％、無脂固形分率は八・七一％となりました。細胞数については二〇・九万（前年二〇・七万）となりました。

七月迄の乳量及び乳質成績は下記ののとおりです。

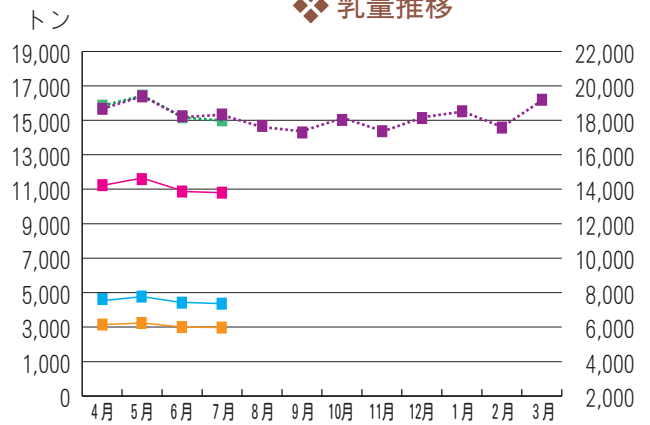
また、出荷組合員数は六〇〇戸（前年六二二戸）、学校・公共団体五戸（前年六戸）となっております。



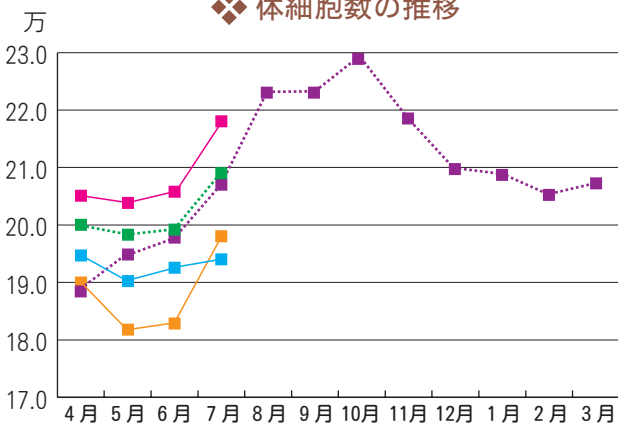
◆ 脂肪率の推移



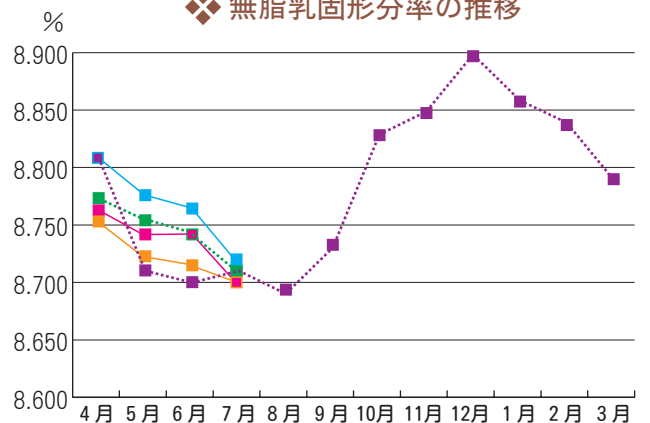
◆ 乳量推移



◆ 体細胞数の推移



◆ 無脂乳固形分率の推移



# 酪農部

## 乳質共励会六年連続賞受賞

過日の第六回乳質共励会において、那須塩原市青木の小針秀夫氏が最優秀賞に輝き、併せて六年連続賞を受賞されました。今回は、受賞に至るまでの経営努力について、ご紹介します。

現在、小針牧場では経産牛七十頭・育成牛二十九頭を飼養しています。作業体系は秀夫さん夫婦と長男夫婦の四名がヘルパーも利用しながら効率良く作業分担し、常に「良質乳生産」を念頭に管理しています。

まず体細胞数に関しては、牛群検定データはもちろん、搾乳中に乳房炎牛を発見した時は、すぐに乳汁を採取し原因菌を特定します。菌の種類に応じた治



短い間隔でほうきが立ち並ぶ繋ぎ牛舎

療や淘汰などの対応を判断し、新規感染を防ぎます。



昭和53年から欠かさずつけている「財産」の日記帳たち

また、搾乳作業の中で特に注意しているのが「乳頭衛生」です。ウェットタオルに汚れが付かなくなるまで丁寧に乳頭口を拭き取り、菌の侵入を防ぎます。「乳房炎での損失ほど大きいものはない。」と秀夫さんは断言します。早期発見・早期対応、また予防の徹底により、今の成績を実現されています。

次に飼料給与面ですが、長男の結城さんが試行錯誤を繰り返して、ようやく今、乳量と乳成分のバランスの良いメニューになったとのことです。メニュー改善により個体乳量が増加していく中で、乳成分を維持し且つ繁殖に繋げようと、本当に苦労されたそうです。

さらに小針牧場には、昭和五十三年から毎日書き続けているとい



小針家一同 2列目右から2番目が本人

う日記帳があり、現在の「チェックシート」の前身と言えるものです。記録が残ることに対応が早くできたり、家族内での情報の共有ができたりと、現在までの経営の安定向上に大いに役立った「財産」とも言えるものだそうです。最後に、酪農経営にとって大切なことは「前向きな想い」「継続」「豊かな発想」であると感ぜられました。年四十八回の生乳検査成績が、基準を全てクリアすることは決して簡単なことではありません。常に「真剣勝負」。小針牧場は、現在の問題点とも冷静に向き合い、これからも更なる良質乳生産を目指していく決意です。

## 8月ホクレン初妊牛市場成績

〔単位：頭、千円（税込）〕

市場名	開催日	成立頭数	平均価格	~400	401~450	451~500	501~550	551以上
北海	8月8日	47	387	26	19	1	1	0
豊 富	8月20日	293	408	107	156	28	0	2
根 室	8月21日	451	446	79	172	149	26	25
釧 路	8月22日	178	417	63	68	44	1	2
北 見	8月27日	249	427	76	95	59	9	10
十 勝	8月28日	538	442	112	170	191	53	12
合 計		1,756	431	463	680	472	90	51
前 月		1,568	434	378	695	358	42	95
前年同月		2,234	454	310	808	807	208	101

※上記金額にはE T妊牛価格を含みます。

## 家畜市場成績

平成20年8月

〔単位：円（税込）〕

市場名	種 別	成立頭数	平均体重	最 高	最 低	平 均
西那須野 25日	ホルス雄	125	58	40,950	110	25,246
	F 1 雄	108	57	151,200	15,750	75,007
	F 1 雌	85	52	65,100	10,500	40,641
館 林 27日	ホルス雄	7	82	43,000	4,000	30,857
	F 1 雄	19	91	157,000	52,000	102,579
	F 1 雌	14	90	91,000	40,000	72,500



# 理事会だより

## 八月度理事会

### 報告事項

- (一) 資金貸付について
  - (二) 八月分生産者支払乳価について
  - (三) 従たる事務所廃止について
  - (四) 関東生乳販連情勢について
- 協議事項**
- (一) 七月度事業実績について
  - (二) 総代選挙の施行について
  - (三) 理事会運営規程の一部変更について

### お知らせ

#### 祝結婚

矢板市の山本修さんの後継者、訓さんが七月七日に新婦みずきさんを迎えられ結婚されました。末永くお幸せに。

### 北勝力関が那須高原支所へ訪問



北勝力関が牛乳提供のお礼で来組

北勝力関（大田原市出身・旧黒羽）が八月十九日に那須高原支所へ訪れ、「八角部屋黒羽夏合宿」に対する組合の協賛（牛乳の提供）に対し、御礼に訪れて下さいました。今回が四回目となる夏合宿は、黒羽出身の北勝力関を始めとする八角部屋の力士ら約二十名が、黒羽地区を中心に夏合宿を行い、少年相撲教室・老人福祉施設への慰問・保育園児をけいこに招待するなど、地域との交流も盛んで活性化にもつながっており、今後も消費拡大運動の一環として協賛して参ります。また、毎年八月は県内でイベン



ベコまつり

動の一環として協賛して参ります。また、毎年八月は県内でイベン

トが数多く開催されており、県北地域でも生産者自らが消費拡大運動を行い、酪農の厳しい現状を訴えました。



J Cみるひいフェスタ



子供フェスティバル



ブリヂストン祭

### 高原支所管内の8月の主な牛乳PR活動

期日	場所	イベント名	本組合協力者	PR内容
8月3日(日)	那須町共同利用模範牧場	第12回那須高原ベコまつり	那須地域酪農組合(地域・青年部・女性会)	牛乳試飲チャリティ・バター作り体験・搾乳体験等
6日(水)	那須塩原市鍋掛「みちくさの会農場」	那須こども自然塾	那須高原支所	牛乳提供協力
10日(日)	農村レストラン「高林坊」	牛乳PR活動	青年部黒磯支部高林班	牛乳試飲及び販売
10日(日)	那須町中央運動公園	第6回那須町子供フェスティバル	青年部那須支部・女性会那須支部	牛乳販売、手作りアイスクリーム販売
13日(水)	大田原市黒羽運動公園及び美原公園	八角部屋黒羽夏合宿	那須高原支所	牛乳提供協力
24日(日)	那須ガーデンアウトレット	J Cみるひいフェスタ	本部青年部・那須高原支所	牛乳試飲チャリティ・バター作り体験・哺乳体験等
30日(土)	ブリヂストン那須工場内	2008inブリヂストン那須工場納涼祭	青木地区組合員	牛乳試飲・子牛とのふれあい

